

● 内政

1 大統領、閣僚級の交代を指示

6月5日、ヒチレマ大統領は閣僚級の交代を指示した。空位であった外相にはハインベ法相兼外相代行を任じ、法相にはプリンセス・カスネ氏を任じた。また、ンゾブ大臣とムポシャ大臣の担務を入れ替え、ンゾブ氏を水資源・開発大臣に、ムポシャ氏をグリーン経済・環境大臣に任じた。（6月5日付 大統領府プレスリリース）

2 大統領、ルサカ市内で不法行為に関与した与党関係者の逮捕を指示

6月6日、ヒチレマ大統領はルサカ市内での不法行為に関与した与党関係者について警察に逮捕、又は手に余るようであれば軍による鎮圧を命じた。政党関係者（幹部）の不法行為への関与は前政権時代にも問題となり、ヒチレマ大統領が公約として廃止を進めるとしたものであったため、現与党関係者が不法行為に関与したことに対して非難の声が大きくなっていた。（6月6日付 News Diggers）

3 政府の歳出削減策を発表

カングワ官房長官は、干ばつ対策などの意で政府として歳出削減する方針を示した。ザンビアの公務員がワークショップとして郊外のホテルなどで会合を行い、旅費・日当など請求するケースが多いことを問題視し、以降の同様のケースを禁止することを決定した。また、政府公用車の私的運行が多いことも問題視し、運行の時間制限などを指示した。削減された歳出は省庁の太陽光パネルの拡充などに充てるとしている。（6月10日付 News Diggers）

4 政府、5月の政府支出を説明

財務・国家計画省は2024年5月に、144億クワチャ（約900億円）の政府支出を実施し

たと表明した。そのうち73億クワチャが国内・対外債務の返済に充てられた。また、39億クワチャが公務員の給与に充てられた。（6月10日付 News Diggers）

5 人権委員会、国内の人権保護に懸念

6月11日、人権委員会の委員は大統領との会談において、ヒチレマ大統領の人権保護強化の取組を賞賛する一方で、人権保護の観点で懸念を抱えており、メディア退出後に議論したいと公に述べた。（6月12日付 News Diggers）

6 情報公開法、施行

6月25日、ムウェトワ情報・メディア大臣は、情報公開法（ATI）を施行した。政府の情報についてのアクセスが容易となるため、情報公開の進展が期待される。（6月26日付 News Diggers）

● 外交・対外関係

1 外相代行、韓国アフリカサミットへ出席

6月2日から5日にかけて、ハインベ外相代行（当時）は、ソウルで開催された韓国アフリカ外相会合および韓国アフリカサミットへ出席した。サミットでは韓国のアフリカでの貢献に謝意が述べられるとともに、相互に利益が出る形での関係深化の意向が述べられた。（6月4日付外務・国際協力省プレスリリース）

2 大統領、カーター・センターCEOと会談

6月6日、ヒチレマ大統領は、当地訪問中のカーター・センターCEOと会談した。会談の中では、カーター・センターの長年に亘るザンビアへの支援に謝意が示されるとともに、健康、平和、気候変動が公衆衛生に与える影響について議論がされた。（6月6日付 大統領府プレスリリース）

3 外相、ジンバブエ大統領の発言を非難

6月20日、ハインベ外相は、国民議会での答弁でジンバブエ・ムナンガグワ大統領の発言を非難した。これはジンバブエ・ムナンガグワ大統領がロシア経済フォーラム参加時にロシア・プーチン大統領と会談した折、ザンビアが欧米諸国などの支援を得、ジンバブエを孤立化させている主旨の発言をし、ロシアのジンバブエへの経済・軍事援助を求めた発言に対するもの。ハインベ外相はジンバブエとの友好関係に鑑みた際に同大統領の発言を不適当ととらえ、SADC・AUなど国際機関の介入を求めた。(6月20日付 国民議会答弁)

4 大統領、英国を公式訪問

6月18日から21日にかけて、ヒチレマ大統領は英国を公式訪問し、チャールズ英国国王・スウィニー・スコットランド首相と会談した。訪問を通し、英国の継続的な支援に対する感謝が述べられるとともに、干ばつ及び気候変動に対する支援が呼びかけられた。(6月23日付 Lusaka Times)

5 大統領、モザンビーク大統領と会談

ヒチレマ大統領は、6月27日から29日にかけて当地を訪問しているモザンビーク大統領と会談した。会談の中では、エネルギー、鉱業、交通・インフラ、貿易・投資、環境、農業、平和・安全保障に関する事項が協議され、モザンビークとザンビアの間にガスパイプラインを建設する必要性について確認がされた。(7月1日付 News Diggers)

(了)